

国立環境研究所シンポジウム

東アジアの越境大気汚染

— 国立環境研究所辺戸岬観測ステーションでの成果を中心に —
"NIES Symposium: Trans-boundary air pollution in East Asia"



近年のアジア、とりわけ東アジアの国々の経済成長は目覚ましく、世界経済や社会の発展を支える大きな柱ともなっています。その一方で、社会経済活動の拡大に伴う環境へのインパクトの増大、とくに大気環境の悪化や、汚染物質の拡散、越境移動が大きな問題となってきました。

沖縄本島の最北端に位置する辺戸岬は、東アジア地域の大気環境とその変化を観測し、越境大気汚染の実態を把握するのに適した場所です。1990年代前半からいくつかの観測研究が始められ、2005年には国立環境研究所辺戸岬大気・エアロゾル観測ステーションが設置されて観測体制が整いました。隣接する環境省国設辺戸岬酸性雨局を含めてオゾンやエアロゾルをはじめ様々な大気成分の連続観測、集中観測などが行われ、これまでに多くの貴重なデータが蓄積されて多数の学術論文、学会報告などとして公表されてきました。また、ストックホルム条約や水俣条約などに対応して、大気中の残留性有機汚染物質(POPs)や水銀等の金属の高頻度・連続観測も進められ、10年近いデータが蓄積されてきています。

こうした、四半世紀にわたる長期の大気観測研究、並びにモデル研究などの成果を関係者が一堂に会して報告し、東アジアにおける越境大気汚染の現状を把握し、今後の課題について議論を行うためのシンポジウムを、下記の要領で開催することとなりました。多くの方々のご参加をお待ち申し上げます。

期日 2018年5月25日(金) 9時～17時

場所 沖縄県市町村自治会館

〒900-0029 沖縄県那覇市旭町 116-37

TEL 098-862-8181 / FAX 098-862-8183

モノレール旭橋駅から徒歩5分(駅から屋根付きの連絡歩道あり)

参加費 無料

プログラム（予定）

- 9:00 開会あいさつ 渡辺知保 国環研理事長
- 9:05 辺戸岬観測ステーション紹介 高見昭憲 国環研地域センター長
- 9:20 基調講演 Frank Wania 教授（カナダ トロント大学）
- 10:15 水銀全球動態モデル 鈴木規之 国環研リスク・健康センター長
- 10:40 休憩
- 10:50 辺戸岬における POPs、水銀観測の意義 瀧口博明 環境省環境安全課長
POPs 観測結果について 分析担当機関（島津テクノロジー）
水銀観測結果について 分析担当機関（いであ）
- 11:30 水銀同位体測定 山川 茜 国環研計測センター研究員
- 11:45 POPs の長期的変化 高澤嘉一 国環研計測センター主任研究員
- 12:00 – 13:20 昼食
- 13:20 基調講演 Neng-Huei (George) Lin 教授（台湾 国立中央大学）
- 14:15 高村民雄 千葉大学環境リモートセンシング研究センターグラントフェロー
- 14:45 金谷有剛 JAMSTEC 地球環境観測研究開発センターグループリーダー
- 15:15 レーザーレーダー観測 清水 厚 国環研地域センター主任研究員
- 15:30 エアロゾルモデル 菅田誠治 国環研地域センター室長
- 15:45– 16:00 休憩（総合討論準備）
- 16:00 – 17:00 総合討論 司会：畠山史郎氏（埼玉県環境科学国際センター）、柴田康行（国環研計測 C）
- 17:00 終了
- 18:00～ 交流会（関係者のみ）
- * 基調講演は英語で行われます（通訳はありません）。それ以外は日本語での講演となります（質問や総合討論の質疑は、英語通訳付き）。
- 5月26日 辺戸岬観測ステーション視察ツアー（関係者のみ：日程は別紙）

<基調講演者>

Prof. Frank Wania

Department of Physical and Environmental Sciences

University of Toronto Scarborough, Canada

物理化学の専門家で、POPs、水銀などの環境動態モデルの構築と環境挙動の予測、パッシブサンプラによる全球観測など推進。



Professor Neng-Huei (George), Lin

Cloud and Aerosol Lab

Dept. Atmospheric Science, National Central University

台湾、国立中央大学教授。エアロゾル研究の専門家。Aerosol and Air Quality Research 誌編集長をはじめ、関連学会長や様々な委員会の委員などを歴任。

